

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)井手町新庁舎等建設工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.3
Q1 室内環境						2.6
1 音環境		2.9	0.15	-	-	2.9
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.80	-	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.20	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	
1.3 吸音		2.8	0.20	-	-	
2 温熱環境		1.7	0.35	-	-	1.7
2.1 室温制御		2.5	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.40	-	-	
2 外皮性能		1.0	0.23	-	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.37	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		3.2	0.25	-	-	3.2
3.1 昼光利用		3.9	0.43	-	-	
1 昼光率	2.5% ≤ [昼光率]	5.0	0.46	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.54	-	-	
3.2 グレア対策		1.0	0.10	-	-	
1 昼光制御		1.0	1.00	-	-	
3.3 照度		3.0	0.14	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.33	-	-	
4 空気質環境		3.1	0.25	-	-	3.1
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	4.0	1.00	-	-	
4.2 換気		3.2	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.37	-	-	
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上。	4.0	0.25	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.37	-	-	
4.3 運用管理		1.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		1.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						2.8
1 機能性		2.5	0.40	-	-	2.5
1.1 機能性・使いやすさ		2.7	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.11	-	-	
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.11	-	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.79	-	-	
1.2 心理性・快適性		1.7	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	会議室の天井高2.9m以上。売場の天井高3.0m以上。	4.1	0.21	-	-	
2 リフレッシュスペース		2.0	0.13	-	-	
3 内装計画		1.0	0.66	-	-	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性		3.3	0.30	-	3.3
	3.1 空間のゆとり		4.0	0.30	-	
	1 階高のゆとり	階高3.9m以上。	5.0	0.33	-	
	2 空間の形状・自由さ	事務所・飲食店・物販店用途: 0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3	3.6	0.67	-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	1.5
1	1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	1.0
2	2 まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	2.0
3	3 地域性・アメニティへの配慮		1.5	0.30	-	1.5
	3.1 地域性への配慮・快適性の向上		1.0	0.50	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	3.2
LR1	エネルギー		-	0.40	-	3.4
1	1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m = 0.69	5.0	0.20	-	5.0
2	2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	3.0
3	3 設備システムの高効率化		3.0	0.50	-	3.0
4	4 効率的運用		3.0	0.20	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	
	4.1 モニタリング		-	-	-	
	4.2 運用管理体制		-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	3.1
1	1 水資源保護		3.4	0.20	-	3.4
	1.1 節水	節水コマなどに加えて、省水型機器(節水型便器)を用いている。	4.0	0.40	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	
2	2 非再生性資源の使用量削減		3.1	0.60	-	3.1
	2.1 材料使用量の削減		-	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床: ビニル系床材、タイルカーペット。	3.0	0.22	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.11	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGS使用している。	4.0	0.22	-	
3	3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	
	1 消火剤		-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	3.1
1	1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルG02排出率が、一般的な建物に対して84%。	3.6	0.33	-	3.6
2	2 地域環境への配慮		2.8	0.33	-	2.8
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	
3	3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	
	1 騒音		3.0	1.00	-	
	2 振動		-	-	-	
	3 悪臭		-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	
	2 砂塵の抑制		-	-	-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	
	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)井手町新庁舎等建設工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-													
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		○	-	-	-	-	-	○			○			
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0		-	-	○	-	-	-	○			○		○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-							
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-							
2.4.3 電気設備	1.0		-	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	1.0		-	-	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	2.0		2.0	-	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-		-	-	-	-	-	-							
3.2 敷地内温熱環境の向上	2.0		-	2.0	-	-	-	-							
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	-	-							
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-							
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-							
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-	-	-							
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		-	-	-	-	-	-							
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	8.0		1.0	-	3.0	3.0	-	-	-	1.0	-	-			
2.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	1.0	-	-	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0		-	1.0	-	-	-	-							
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-							
3.3.1 風光阻害及び屋内照度のうち外に漏れる光への対策	2.0		-	2.0	-	-	-	-							

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	ηAC
屋光率	3.3%	ηAH	
自然換気有効開口面積率	6.6%		

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	.0㎡/人	病床	.0㎡/床	シングル	.0㎡	ツイン	.0㎡
コンセント容量	0.0 VA/㎡						
天井高	0 m						
リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%				
想定耐用年数	0 年						
想定必要間隔	0 年						
想定必要間隔	0 年						
想定必要間隔	0 年						
階高	3.98 m						
敷長さ比率	26.0%						
床荷重	- N/m2						

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

3 設備システムの高効率化

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

外構緑化指数	0%	建物緑化指数	0%
空地率	72%	水平投影面積率	0%
		地表面对策面積率	0%
		舗装面積率	71%

BPI/BPI _m	0.69	断熱等性能等級	対象外 相当
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	0.0%
		採光を満たす住戸数	0.0%
		通風を満たす教室数	0.0%
		通風を満たす住戸数	0.0%

BPI/BPI _m	非住宅 0.80	住宅	-
		太陽光	.0kW
		太陽熱等	.0kW
		蓄電池	.0kW

雨水利用率	0.0%
特定調達品目	-
エコマーク商品	ビニル系床材、夕自閉栓地留め特定品目等
使用比率	0.0%

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)

見付面積比	29%	隣接間隔指標Rw	2.15
地表面对策面積率	0.0%	屋根面对策面積率	0.0%
		外壁面对策面積率	0.0%
見付面積S _b	596㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	123.5 m
		基準高さH _b	16.1 m
緑地	㎡	水面	㎡
		保水性対策面	㎡
		高反射対策面	㎡
		再帰性反射対策面	㎡